

令和5年度 訪問看護人材確保事業実施要項

1 目的

地域包括ケアシステムの構築が進められる中、在宅療養の要となる訪問看護に従事する人材の確保が喫緊の課題となっており、看護学生が訪問看護への興味と関心をもつ機会とする。

2 実施主体

公益社団法人京都府看護協会 訪問看護総合支援センター

3 共催

社団法人京都府訪問看護ステーション協議会

4 対象者

京都府内の看護師等養成機関に在籍する学生 40名

5 内容

事業名	訪問看護入門研修	訪問看護ステーション 1日職場体験
目標	訪問看護の対象や役割、職業としての魅力について学び、訪問看護への興味関心が高まる。	訪問看護の体験実習を通して、訪問看護の対象と訪問看護師の役割が理解できる。
開催日時	令和5年8月2日(水) 13:30~16:00	令和5年7月24日~9月30日のうち1日(実習先の訪問看護ステーションが指定する日時)
会場	オンライン	指定された訪問看護ステーション
内容	講義「訪問看護の役割と魅力」 事例紹介 佛教大学保健医療学部看護学科 准教授 清水 奈穂美 「忘れられない看護エピソード」 事例1 認知症療養者の看護 (株)訪問看護ステーション絆 所長 金澤 克枝 事例2 終末期療養者との関わり (医)都会訪問看護ステーション にしがも 所長 村上 成美	訪問看護師に同行し在宅療養者の自宅を訪問することにより、在宅療養者の生活を知るとともに、訪問看護の実際を見学する。 また、地域の関係機関との連携について、事例を通して学ぶ。

6 受講料

無料

7 問い合わせ

公益社団法人京都府看護協会 訪問看護総合支援センター 担当者：茶谷
 電話：075-723-7197 FAX：075-723-7272
 E-mail：kyoto-kyokango@kyokango.or.jp